

2013 10月

OIT Website
<http://www.oit.ac.jp>

およど

ひとことメッセージ

普段の生活で見たり聴いたり触れたりして、突然気づく美しさがあります。まだ創り出す方法を知らない、勉強だけではわからないこの美しさを、みなさんぜひ見つけてください。



工学部 都市デザイン工学科 教授
 田中 一成 (専攻: 環境デザイン)

祝 ソーラーカーレース鈴鹿で準優勝

CONTENTS

学園祭特集

城北祭・北山祭をみんなで盛りあげよう

プロジェクト活動特集

「ソーラーカーレース鈴鹿2013」で準優勝

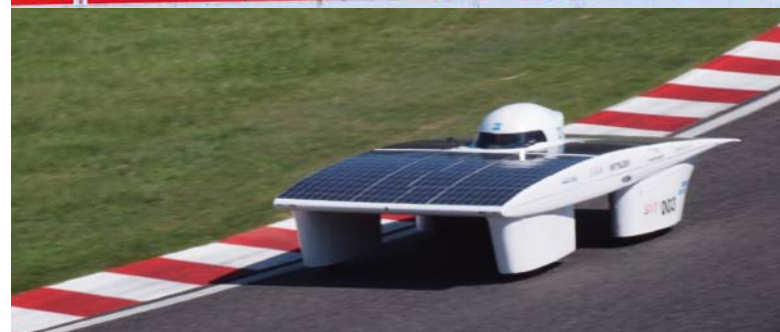
ロボットプロジェクトが相次ぎ受賞

情報科学部基礎ゼミアニメーション発表会

旭区民まつりに4クラブが参加

OIT-NEWS

淡水魚保全シンポジウム開催





城北祭

大宮
キャンパス

SHIROKITA FESTIVAL

10.25金 26土 27日

華やかで色彩に富んだ城北祭「カラフル～多彩～」

大宮キャンパスの学園祭「城北祭」の今年のテーマは『カラフル～多彩～』。その意味から華やかで色彩に富んだ城北祭を完成させるという実行委員会の強い思いが込められています。

ステージ企画は毎年恒例となった「吉本お笑いライブ」や「カラオケ大会」など楽しいイベントが盛りだくさんです。さらに、模擬店の出店数もアップし、今年もにぎわいを見せる城北祭を満喫できるに違いありません。また、期間中は工学部の学生・教職員による体験や実験のプログラムを通じて科学の面白さや工学の豊かさを実感できる「工学実感フェア」や、OB・OGが懐かしいキャンパスに一挙に集い、母校との絆・校友との絆を確かめることを目的とした、工大と校友会共催の「ホームカミングデー」が同時開催されます。

学園祭期間中は友人や家族を誘って、みんなで城北祭を楽しもう!!

城北祭実行委員会 委員長 桑島 惇一 (V3)



今年度の城北祭のテーマ「カラフル～多彩～」には、いろいろな色の個性が集まり城北祭を完成させるという意味が込められています。

毎年恒例の「吉本お笑いライブ」には3組の芸人が登場します。また今年は目玉企画として新たに「声優トークショー」を行います。さらに、「お化け屋敷」や「のど自慢大会」など楽しいイベントもごぞいます。

その他、地域で協力の企画、お子様向けの企画など盛りだくさんの3日間となっておりますので、ぜひ足をお運びください。



ホームページ <http://shirokitasai.jimdo.com/>

城北祭連絡先 TEL. 06-6953-8770

SHIROKITA FESTIVAL schedule

※イベント内容や時間は都合により変更となる場合があります。

24 木	15:00~16:30	オープニングパレード (大学周辺～千林商店街) ※雨天時は大学内で実施
	10:00~10:45	開祭式 (芝生ステージ)
25 金	11:00~13:30	のど自慢 (芝生ステージ)
	13:30~14:30	軽音楽部ライブ (東中庭ステージ)
	14:30~16:00	OCF軽音楽部ライブ (芝生ステージ)
	15:30~16:30	フォークソング部ライブ (東中庭ステージ)

26 土

10:30~11:30	吉本お笑いライブ (芝生ステージ)
12:00~12:30	ホームカミングデー セレモニー (芝生ステージ)
12:30~13:30	ウィンドアンサンブル (7号館掲示板上)
12:30~13:30	ストリートダンス (東中庭ステージ)
13:30~14:30	ファッションショー (芝生ステージ)
14:30~16:00	OCF軽音楽部OBライブ (芝生ステージ)
14:20~16:30	相撲大会 (東中庭ステージ)

27 日

11:00~12:00	体操アクロバット演技会 (東中庭ステージ)
12:00~12:30	マジックショー (芝生ステージ)
12:15~12:45	ジャグリングステージ (東中庭ステージ)
13:00~14:00	アーティストライブ (芝生ステージ)
15:00~16:00	ビンゴ大会 (芝生ステージ)
14:30~17:00	演武祭 (東中庭ステージ)

北山祭

11.3日祝

枚方
キャンパス

KITAYAMA FESTIVAL

今年も 吉本芸人が やってくる!



モンスターエンジン



プリマ旦那



祇園

北山祭実行委員会 委員長 荒川 峻光 (IM2)



今年の北山祭のテーマは「結笑(けっしょう)」です。

北山祭では、多くの方々と共に笑顔で一つにつながり合うことを目的としたイベントを企画しており、ステージイベントでは、今年度も吉本お笑い芸人によるお笑いライブを開催します。その他にもビンゴ大会やフリーマーケット、模擬店等、皆さまに楽しんでいただけるイベントを企画しています。11月3日(日)の北山祭にぜひご来場ください!

今年も枚方キャンパス東側に特設ステージを設営し、「吉本お笑いライブ」を開催します。「モンスターエンジン」「プリマ旦那」「祇園」の3組が出演予定で、もちろん観覧無料です。楽しみいっぱいステージイベントにご期待ください!

「都合により出演者が変更になる場合があります」

ホームページ <http://www.is.oit.ac.jp/~club/~kitayamasai/index.html>

北山祭連絡先 TEL. 090-3104-9284



吉本お笑いライブ

毎年恒例となった吉本お笑いライブ。今回は10月26日に3組の吉本お笑い芸人が大宮キャンパス芝生(特設)ステージにやってくる。出演者は「ロザン」「ミサイルマン」「学天即」が出演予定。もちろん観覧無料。生のお笑いを体感しに、友人を誘って笑いに行こう。(都合により出演者が変更になる場合があります。)



ロザン

10月26日(土)
10:30~11:30
観覧無料



ミサイルマン



学天即

講演会

ファイナルファンタジーシリーズ制作者が来学 -GAME PROGRAMMER TALK LIVE-

講演者は、株式会社スクウェア・エニックス 現役サウンドプログラマーの土田善紀さんです。ゲーム業界の最新動向や開発現場の生の声を伝えると共に、今我々が必要としている人材、業界で生き残っていく為に必要な資質、ものづくりの姿勢などをテーマに講演いただきます。学業の視野を広げるためにも10月26日は1041教室へ集合だ。

入場無料



土田 善紀 プログラマー歴26年。
CAD、DTP、AI、数学演算、VFX、モーショントラッキング、モデル描画、ムービー、Tool制作など様々なジャンルを経験し、現在はスクウェア・エニックス開発部 サウンドグループ テクニカルディレクター/サウンドプログラマーを務める

注目!

アーティストライブ

佐香智久

芝生ステージにて27日、アーティストライブを開催します。

佐香さんは2012年にデビューし、Twitterフォロワー数11万人超え、動画総再生回数1,005万回超えのWeb界のプリンス的存在で、デビューイベントでは2,000人という異例の集客を記録しています。今年のライブも必見です。

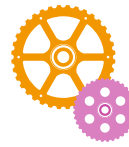
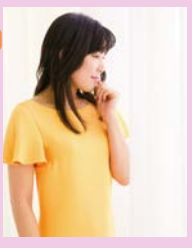
観覧無料



声優トークショー

新井里見 第5回声優アワード助演女優受賞!

出演作品: とある科学の超電磁砲 白井黒子役 その他多数出演
開催日時: 10月25日(金) ①13:00~ ②15:00~
場所: OITホール チケット料金: 500円
チケット販売場所: 城北祭本部



工学実感フェア2013を開催します!

10月26日、27日の2日間、大宮キャンパスでは「未来を拓く。-深海のフロンティアたち-」をテーマに工学実感フェア2013を開催します。

約50の体験等のプログラムの出展のほか「テクノ・フォーラム」と題して、深海から新しい資源を発見するエネルギーの未来を拓く科学技術についての講演を実施します。

また、「ソーラーカープロジェクト」や「ロボットプロジェクト」の各種大会での活躍や、学内廃棄物を利用してリサイクルエネルギーを活用する「OITキャンパスエコプロジェクト」など、本学の新しい動きや学術研究を知ってもらえるさまざまな催しを予定しています。ぜひとも本学の今を実感しに来てください。

KITAYAMA FESTIVAL schedule

※イベント内容や時間は都合により変更となる場合があります。

時間	ステージ (学生駐車場)	1号館周辺	食堂・談話室	学生駐車場
9:45~	開祭式	フリーマーケット	Oh! ITカーニバル	模擬店
10:00~10:30	演武祭(応援団)	(10:00から)	↓	↓
10:30~10:45	ストリートダンス部			
11:00~12:00	吉本お笑いライブ	↓	↓	↓
12:15~12:45	ウィンドアンサンブル			
12:55~13:25	ジャグリングクラブ	(16:30まで)	(16:30まで)	(16:00まで)
13:45~14:15	Creative Sound Lab.			
14:35~15:05	情報科学部軽音部	↓	↓	↓
15:30~	ビンゴ大会			
16:20~	閉会式			

Oh! ITカーニバル

情報科学部の研究が大々的に公開されるイベント「Oh! ITカーニバル」が、1号館1階の食堂と2階の学生談話室で開催されます。今年は39の研究室・プロジェクトの研究成果が各ブースで発表される予定で、ロボットとの音声対話システムのデモや、学生が開発したアプリケーションゲームの体験など多種多様な内容となっています。学生の詳しい説明に加えて、体験できるブースが多数ありますので、情報科学部の研究を満喫できること間違いなし!ぜひご来場ください。

巨大フリーマーケット

今年も毎年恒例の巨大フリーマーケットが、枚方キャンパスを会場として開催されます。関西でも最大規模の約200店舗が出店予定で、学舎を囲んで多彩な店舗が立ち並ぶ姿は圧巻です。毎年多数の来場者がつめかける同イベントに、ぜひお越しください。思いがけない掘り出し物に出会うかも・・・。



毎年にごわう巨大フリーマーケット



子どもから大人まで楽しめるイベントブースを用意しています!

プロジェクト活動特集!!

各種プロジェクトで、活動する学生諸君のこの夏の活躍を大特集します。

祝 ソーラーカープロジェクト 「ソーラーカーレース鈴鹿2013」で準優勝

8月2日～3日、三重県の鈴鹿サーキットで開催された「FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿2013」のオリンピッククラスで、本学ソーラーカープロジェクト「TEAM REGALIA」が準優勝に輝きました。この大会は1周5.8kmのコースを5時間の制限時間内で何周できるかを競うレースです。

昨年のレースでは、同大会ドリームクラスに参加しましたが、マシントラブルから完走できず、悔しい思いをしました。昨年のリベンジを胸に今回のレースに挑んだ本学チームの特徴は、モーターとパネル以外は足回りからカーボンボディに至るまで、すべてチームメンバーみんなで作った車体です。

ドライバーは、前半を徳野哲也君(M2)、後半を高校時代からソーラーカーの製作に携わってきたという石田勇君(M3)が務め、みんなの思いを乗せて走りました。

本学チームは、スタート当初から首位を争うレース展開をみせ、その後も順調に走行しましたが、レース開始後4時間を経過したあたりで

モーターの軸が折れるという車体トラブルに見舞われました。しかし、メンバーの機転とチーム力で限られた時間の中でモーターを交換し、ペナルティを受けることなくレースを再開し、最後まで完走することができました。

プロジェクトリーダーの廣島眞太郎君(E3)は「更なる軽量化を図り、まずは来年の鈴鹿での優勝を目指します。さらにオーストラリアで開かれるソーラーカーの世界大会「ワールド・ソーラー・チャレンジ」に2015年に参戦したい」と大きな夢を語ってくれました。現状に満足せずに進化しつづける「TEAM REGALIA」からまだまだ目が離せません。



快走するマシン



スタート直前の緊張の瞬間

フォーミュラプロジェクト 「第11回全日本学生フォーミュラ大会」で快走♪

9月3日～7日、静岡県にある小笠山総合運動公園エコパにおいて第11回全日本学生フォーミュラ大会が実施され、学生フォーミュラプロジェクト「TEAM REGALIA」が出場しました。

フォーミュラカーとは、最大6100ccのバイクエンジンを使って走行するオープンホイールのレースマシンで、エンジン以外は全て、プロジェクトメンバーで企画・設計・製作します。大会では車の走行性能を評価する「動的審査」だけでなく、車検や技術、コスト、デザインはもちろんのこと車両コンセプトのプレゼンテーションなどの「静的審査」も評価する、ものづくりの総合力を競うものです。

本学チームは10位以内を目指し、得点配分の高い動的審査に重点を置いて取り組んできました。その結果、マシンの低重心化に成功し、安定感のある走行を実現することができました。静的審査をクリアし迎えた動的審査の初日、エンジントラブルに見舞われるチームが続出するなか、本学チームも出走直前で一時的にエンジンが上手く作動しなくなるトラブルに見舞われましたが迅速に対応し、快走をみせました。

2日目の約22kmを走行する「エンデュランス」では、ファーストドライバーからセカンドドライバーへの交代の際に指定時間内にエンジンを再始動できず、残念ながらリタイアとなりました。

まだまだ挑戦を続ける「TEAM REGALIA」に今後も期待しています。



マシントラブルに迅速に対応するメンバー

人力飛行機プロジェクト 「鳥人間コンテスト2013」で健闘!!

7月28日に琵琶湖(彦根市松原水泳場)で開催されたIwataniスペシャル「鳥人間コンテスト2013」(主催:読売テレビ)に、本学の「人力飛行機プロジェクト」チームが今年も出場しました。「人力プロペラ機ディスタンス部門」(飛行距離競技)に出場した本学チームは、出場チーム唯一の1枚プロペラで、パイロットはロードレースで脚力を鍛えた小西優大君(M4/体育会サイクリング部)が務めました。

ちょっとした風で墜落しかねない発進を難なくこなし、理想的な姿勢でプラットホームを飛び立ち、悠々と飛ぶ美しい姿で会場を魅了しました。応援に駆けつけたサポーターたちが見守る中、機体速度が増したことで主翼がマイナス方向に捻れるダイバージェンス現象に陥り、197.97m地点で着水しました。

今回、残念ながら1,000m以上飛行するという目標を達成することはできませんでしたが、来年もまたひとまわり強くなってみんなをこの会場に連れて来てくれることと信じています。



大空へ飛び立つ機体

スマラボメンバーが「うめきた さんすう教室」開催

8月27～28日、情報科学部の学生プロジェクト「スマラボ(Smart Learning Lab)」メンバーがグランフロント大阪のカフェラボで「うめきた さんすう教室」を開催しました。これは、小学3年生までの子どもたちを対象にした「算数を楽しみながら学ぶイベント」で、両日とも定員の48人を超える申し込みがありました。

今回の教室では、タブレットPCを使った算数ゲームや、数字パズルによる計算トレーニング、欧米で広く利用されている算数学習用教

材のパターンブロックを用いた図形感覚トレーニングの3種類を用意し、各々のプログラムを体験してもらいました。

参加した子どもたちは「どれもとても楽しかった」と満足気な様子でした。また、保護者の方にはカフェラボのドリンクを楽しみながら見学いただき、「子どもの真剣な表情を見ることができて良かったです」などの声が多く寄せられ、好評のうちに終了しました。



夢中で問題を解く子どもたち



ロボットプロジェクトが相次ぎ受賞 -レスキューロボットコンテスト・ロボファイト14-

8月10日～11日に神戸サンボーホールで開催された「inrevium杯 第13回レスキューロボットコンテスト」に、本学ものづくりセンターで活動するロボットプロジェクトチーム「大工大TECFER(テクファー)」が出場し、「ベストテレオペレーション賞」と「消防庁長官賞」を受賞しました。

レスキューロボットコンテストでは書類審査、競技会予選、本選が用意され、競技結果だけでなく人命救助に対する考え方やアイデアの実現度など、総合的に評価されます。競技は、大地震で倒壊した市街地を模擬した6分の1スケールのフィールドの中で、ロボットからの映像をもとに瓦礫や障害物を取り除き救護者に見立てたダミー人形を探して助け出し、安全な場所まで運ぶことを競います。本学チームは限られた時間内ですべてのダミー人形を搬送することはできませんでしたが、操縦者や要救護者の負担を軽減させるために様々な工夫をしたことが高く評価され受賞につながりました。

プロジェクトリーダーの中上浩佑君(M3)、

レスキューロボットチームリーダー吉田博紀君(R3)からは、「ロボットにつけるカメラだけでは視野が狭く得られる情報が少ないため、ロボットの四隅にセンサーを搭載し周囲の障害物について画面に表示させ、音声で通知するシステムを構築したことが評価されました。今後は常にベストパフォーマンスが発揮できるよう改良し、実用性の高いレスキューロボットを目指します。」と話してくれました。

一方、8月4日に実施された二足歩行ロボット格闘競技会「ロボファイト14」(株式会社エルエルパレス主催)では、ロボットプロジェクトチームが出場し、河村裕貴君(R1)が強豪ひし



受賞したレスキューロボットプロジェクトチーム「大工大TECFER」

めくSRC 1.8kg以下級クラスで準優勝に輝きました。河村君は「自分でロボットを作ってみるとうまく動かないことも多く、先輩達に教えてもらいながら製作しました。この経験を活かし、NHK大学ロボコンなど大きな大会を目指したいです。」と意欲を見せてくれました。今後のロボットプロジェクトチームの活躍にご期待ください。



決勝を戦う河村君



センサーを搭載したレスキューロボット

知財PR隊メンバーが「2013 知財シンポジウム」で講演

9月12日、クリエイション・コア東大阪で大阪府、東大阪市、IP-NETが主催する「2013 知財シンポジウム～みんなで知財を考えよう～」が開催されました。

本学からは知的財産学部の特別課外活動プロジェクト「知財PR隊」の2年生メンバーが「大阪欄間のブランド戦略～伝統技術×知的財産～」と題して100人を超える聴講者の前で講演しました。

講演では、大阪府摂津市烏飼鉦木町や富山県南砺市井波町の欄間店への訪問調査とそこから得た課題などについて報告しました。

知財PR隊のメンバーは、「今後は大阪欄間のロゴの表示方法を決め、さらに地域団体商標の助成事業を活用した商品開発を提案したいです」と締めくくり、会場は割れんばかりの拍手に包まれました。



知財PR隊による講演の様子

留学生が日本文化を体験! ～留学生見学会～

本学に在籍する留学生が9月9日からの2日間、留学生見学会に参加しました。この見学会はさまざまな体験を通して日本文化を学ぶことを目的に毎年実施しているもので、約60人が淡路島と徳島県を訪れました。

雲ひとつない快晴の空の下、1日目は南あわじ市で淡路瓦づくりに挑戦。瓦粘土に絵や文字を自由に彫刻して作品づくりに熱中しました。午後はうずしおクルーズ観潮船に乗って鳴門海峡へ。激しく複雑な海峡の潮流によって生まれる鳴門うずしおの迫力に圧倒されました。その後、伝統芸能・淡路人形浄瑠璃を鑑賞。手足や顔の繊細な動きで表現される技に、留学生から歓声があがりました。



参加者全員で記念写真

2日目は大鳴門橋を渡り徳島県へ。美馬市にあるうだつの町並みでは、歴史ある古い商屋や民家を見学。藍染め体験では藍色オリジナルハンカチを作りました。

今年は国際友好部に所属する日本人学生も参加し、現地で難しい日本語があれば分かりやすく伝えたり、初めて見る日本食があれば何の材料で作られているのか説明したり、留学生をサポートしてくれました。参加した留学生から「たくさんの体験をして楽しかった」「日本の文化にますます興味がわいた」などの感想が寄せられました。



鳴門海峡のうずしおを目前で見学



瓦粘土に絵や文字を自由に彫刻

薬物乱用防止キャラバンがキャンパスに 学生たち、薬物乱用の恐ろしさを実感

薬物乱用防止キャラバンカーが9月17日(大宮キャンパス)と24日(枚方キャンパス)、本学を訪れ、学生たちに乱用防止を呼びかけました。

キャラバンカーには薬物乱用が心や身体に与える危害の解説や写真のパネル、乱用されている薬物の標本、薬物乱用の危害を解説する映像、薬物乱用に関してクイズ形式で学習できるパソコンシステムなどが搭載されており、薬物乱用の恐ろしさを体感的に学習できるようになっています。学生たちは、薬物乱用についてさらなる理解と「ダメ。ゼッタイ」という意識を深めたようでした。



情報科学部で「2013年度基礎 ゼミアニメーション発表会」開催

9月13日、枚方キャンパスのエントランスにおいて、情報科学部1年次の基礎ゼミ生による「2013年度基礎ゼミアニメーション発表会」が開催されました。

これは基礎ゼミ生によって作成されたアニメーションを上映し、学生による投票で順位を決める発表会です。

基礎ゼミアニメーション発表会は2008年度から実施しており、当初は、携帯電話で撮影した作品もあり、「手ぶれ大賞」のようなユニークな賞もありました。作品は年々レベルアップしており、今年も個性豊かな作品ばかりでした。

31作品のうち見事大賞に選ばれたのは、奥野ゼミの「Red Riding Hood」でした。この作品はグリム童話の「赤ずきん」を題材にして、映画の予告編風にドラマチックに仕上げた作品です。

これら31作品は北山祭(11月3日)で開催される「Oh!ITカーニバル」でも上映しておりますので、ぜひご覧ください。



基礎ゼミ アニメーション発表会の様子

カウンセラーのひとり言 「名前の由来」

カウンセラー 大谷 真弓

みなさんは、自分の名前が好きですか?なぜその名前がつけられたのか、ご家族から聞いたことはありますか?

名前は、「親から子どもへの最初の贈り物」とはよくいわれることです。私が小学生の頃、自分の名前がどのようにしてつけられたのか調べてくるように、という宿題が出たことを覚えています。それまでにも、名前の由来は何となく聞いていましたが、改めて自分の名前の由来を親と話してみることは、自分のことがちゃんと扱われている感じがして、恥ずかしくも嬉しかった覚えがあります。

子どもは生まれてくるまでの約10カ月間、お母さんのおなかの

中にいます。その間、両親や祖父母たちは「どんな子が生まれてくるんだろう」、「こんな子になって欲しいな」等、期待したりちょっと不安を感じたりと、色々なことを考え、感じて過ごします。そんな色々な思いが託されて、みなさんの名前はつけられています。

まだ名前の由来を聞いたことのない人は、機会を見つけてぜひお母さんやお父さん、おじいちゃん、おばあちゃんに聞いてみてください。ふだん聞くことのない、周りの人の思いを知ることができるかもしれませんよ。

心理学アラカルト 「失敗から新たな何かへ」

カウンセラー 淀 直子

昨年、ノーベル賞を受賞された京大の山中伸弥教授が、「1回成功するために、9回ぐらい失敗しないと幸運はこない」、「ジャンプしようと思ったら屈まない」と語られていました。また、今年8月の新聞に、2002年にノーベル化学賞を受賞された田中耕一さんの講演記事が載っており、そこでも「失敗を活かす」ということが述べられていました。お二人とも何度も失敗して、うまくいかなかったところから発明が生まれたそうです。

一見失敗と見えてるところから、新たな何かが生まれてくる可能性があります。田中さんは、失敗は嫌で尾を引きたくなくて忘れようと

思うけれども、そこで思考停止をせずに、活かさないかと思い起こす力強さが必要だとおっしゃっています。

なかったことにするのではなく、そこに留まってみることで、その時に、ちょっとした心のゆとりがあることが大切だと思います。つまり、心のスペースがあって心の遊びがあって、そこで考えられた時に新たな気づきや発想など、生産的な何かが生まれてくるように思います。またそれは一人きりではなく、誰かと共にいて相互作用の中で生まれてくることが多いのではないのでしょうか。



旭区民まつりに本学から 4クラブが参加!

8月31日、大宮キャンパスのある旭区での恒例行事『第39回旭区民まつり』が開催され、今年も本学の文化会からウインドアンサンブル、鉄道研究部、応用化学研究部、ジャグリングクラブの4団体が参加しました。

旭区民ホールで行われたプレコンサートでは、ウインドアンサンブルが『サザンオールスターズメドレー』や『真夏のSounds good』などを演奏し、ホールを埋め尽くした地域の方々から盛大な拍手を受け、会場を大いにわかせました。

その後、メイン会場の旭公園グラウンドへ場所を移動し、応用化学研究部は子供を対象とした人イクラとスライムづくりの体験コーナー、鉄道研究部は鉄道模型の展示と運転体験、ジャグリングクラブは特設ステージでボールや箱を使ったジャグリングショーを披露するなど、会場は大いに賑わいをみせました。このイベントを通じ、本学の課外活動を地域にアピールするとともに近隣住民との交流を深めた一日となりました。



日頃の練習の成果を披露するウインドアンサンブル

文化会リーダーズキャンプに152人 クラブ中核になう学生らが大きく成長

2013年度の文化会リーダーズキャンプが9月4日～5日にかけて、兵庫県篠山市のVIPアルパインローズ・ビレッジで開かれ、将来の幹部をになう学生ら152人が、クラブの連携とリーダーとしての資質を学びました。

当日は現地に到着後、工学祭・芸能祭・音楽祭や枚方校地クラブに分かれての系統別会議や各種交流イベント、陶芸体験など充実したプログラムをこなしました。夜には全クラブ生が集まっての懇親会で、クラブ間の交流もいっそう親密に。

翌日は、西川学生部長から「リーダーシップという能力」について講演を聴きました。西川部長は「情熱を持ち、困難な課題に率先して取り組み、仲間への思いやりを忘れない。そんなリーダーに育ってほしい」と学生たちに語りかけていました。その後も、大学祭に関する会議や役員別会議などをこなし、リーダーとしての資質を大きく育てて大学に帰ってきたようです。全体を統括した文化会本部長の喜田浩平君(P3)は、「今回は枚方のサークルがクラブに昇格してはじめての文化会合同行事。両キャンパスの学生が結束と交流を深めた意義は大きい」と成功を振り返ってくれました。



系統別会議の様子

ウェルフェアニュース

「アスリート食」を始めました!

食事はスポーツ選手にとって競技力向上の基礎となるものです。運動直後の栄養補給は疲労回復や筋肉をつけるのに重要なタイミングです。このことから、トレーニングで消費したエネルギーを補給すると同時に、競技特性に見合った栄養素をしっかりと摂取できるアスリート食の提供を始めました。希望されるクラブ団体は、学生課に連絡してください。

また、目的やシーズンに応じたセミナーや栄養サポートを通して、スポーツ栄養についての正しい情報の発信や、スポーツ栄養教育の普及にも力を入れています。

私たちの食事提供が、パフォーマンスの向上に少しでも繋がるよう、そして選手にとって食事が楽しみのひとつとなるよう願っています。

アスリートメニューの例

主食	麦ごはん	トレーニングで使い切ってしまったエネルギー、エネルギー源の炭水化物はご飯でしっかりとる。麦を入れて食物繊維も補給。
主菜	豚のしょうが焼き	豚肉に豊富に含まれるビタミンB1は、ご飯の炭水化物を効率よくエネルギーに変え、疲労回復を促進する。
主菜	アジの南蛮漬け	青背の魚は抗酸化作用が高く、DHA(脳細胞の活性化)やEPA(血液サラサラ)をたっぷり含んでいる。お酢が消化液の分泌を促し消化を助けてくれる。
副菜	卵の花	おからには食物繊維が豊富に含まれ、他にもカルシウム、たんぱく質、炭水化物、カリウムなども含まれている。
汁物	具だくさんみそ汁	練習後の疲労回復に有効なみそ汁。水分の摂りすぎで不足した塩分を補給し、野菜や海藻などの具は、不足しがちなビタミンやミネラルを補う。
乳製品	ヨーグルト	不足しがちなカルシウム補給に、手軽なヨーグルトはオススメ。また、乳酸菌が豊富で腸内環境を整えるのに効果的
果物	フルーツスムージー	ビタミンCはコンディションを良好に保つために必要なビタミン。ストレスの緩和にも役立つ。また、腱や韧带などの結合組織を構成しているコラーゲンの合成にも欠かせない。



クラブピックアップ

ボランティア・Link

はじめまして。ボランティア・Linkです。僕たちは現在、25名で活動しています。主な活動内容は1週間に1回の部会のほか、大学周辺の清掃、近隣の幼稚園や中学校の行事のお手伝いを行っています。最近では旭区社会福祉協議会と提携して、ご高齢の方々が集まる憩いの場でいっしょにおしゃべりしたり、障害者の方とバスツアーに参加したり、活動は活発になってきています。その他には大学や地域が主催する行事参加や学生課内ボランティアブースでクリーンキャンペーンの受付もしています。

ボランティアやクリーンキャンペーンなどは入部していなくても参加できます。もし、ボランティアに参加したい方やボランティア・Linkに興味がある方はぜひ学生課に来てみてください。体験入部や話を聞くだけでも大歓迎です。

部 室：大宮キャンパス 第1部室センター5階
活動場所：学生課内ボランティアブース
活動日時：平日 部員の都合に合わせて調整 / 休日 ボランティアがある場合あり



ボランティア・Linkのメンバー

「第6回淡水魚保全シンポジウム淀川大会」が開催されました

9月25日、淀川水系イタセンバラ保全市民ネットワークと淡水魚保全研究会が主催する「第6回淡水魚保全シンポジウム淀川大会」が本学で開催されました。このシンポジウムは、絶滅の危機的状況が続く淡水魚の保全を目標に、市民や河川行政、研究者が果たすべき役割や協働について考えるもので、当日は秋篠宮文仁殿下ご臨席の下、多くの方が参加されました。

OITホールで開かれたシンポジウムでは、井上学長が「淀川と共に歩んできた本学にとって、この会場でシンポジウムが開催されることは、非常に光栄なことだと考えます。地域住民と行政が一体となり、この地から淡水魚保全活動がますます広がることを期待します。」とあいさつした後、基調講演のほか本学工学部都市デザイン工学科の綾教授が「淀川イタセンバラの再導入とこれから」と題して話題提供で発表を行いました。

その他はパネルディスカッションが行われ、淡水魚保全のために何をどのように守るべきかについて、ゲストスピーカーと聴講者が一緒になって考える機会となりました。



話題提供で発表する綾教授

大阪府中学生サマー・セミナーを開催しました

8月6日、7日に大阪府、大阪市、堺市教育委員会などと連携し、「大阪府中学生サマー・セミナー」を開催しました。このセミナーは、生徒個々の学問に対する関心や能力の伸長を図り、チャレンジ精神に満ちた創造性豊かな人材を育成する目的で実施されています。

本学は3講座を開設し、約50人の中学生が参加しました。ものづくりセンターの山下技師による「三原色ライトを作ろう」では、電子部品をはんだづけして基板を製作し、LEDライトを完成させました。電子情報通信工学科の神村准教授による「モーターを作って扇風機製作を体験しよう」では、電線を巻いたコイルと永久磁石を組み合わせたモーターに羽をつけて扇風機を製作しました。また、環境工学科の河村講師による「淀川の多様なプランクトンを顕微鏡で観察しよう」では、本学の側を流れる淀川のプランクトンを採集し、図鑑で調べながら観察しました。

いずれのセミナーも普通の授業では学べない貴重な体験をしてもらうことができました。

工作・実験フェア2013

8月24日、大宮キャンパスでの夏の恒例行事「工作・実験フェア2013」を開催しました。大学の教員や学生たちの指導で、近隣の小学生に工作・実験を体験してもらい「世のため、人のため、地域のために」を建学の精神とする本学が、地域貢献を通じて「理科好き」、「工作好き」の子どもたちを育てようと企画、実施したものです。

当日は、前年のプログラム数を上回る多種多彩な87の体験プログラムが用意されたこともあり、小学生とその家族を含む約4,200人の方々にご来場いただき、キャンパス内は活気に包まれました。さまざまな工作や実験に取り組む子どもたちの真剣なまなざしや、たくさんの笑顔があちこちで見られ、本学の目指す実践的教育を体現する「ものづくり」体験を通じて、本学ならではのプログラムに触れてもらった1日となりました。



夢中で実験中♪



プランクトンの観察に夢中の参加者たち

工大流就職支援

2012年度の就職率ランキングが7月に公表された（サンデー毎日7月28日号）。本学は就職率87.8%で、卒業生が1,000人以上の大学で昨年度に引き続き関西以西の私立大学でナンバー1であった。本学の就職支援の中で、特に力を入れているのが学内合同企業説明会だ。毎年約700社を学内に招き実施している。学生にとっては、1日に数社の企業から説明を聞くことができ、また、学内で実施するので交通費の負担もなし。さらに、参加される企業は、とにか

就職 NEWS Vol.12

く工大生に対する採用意欲が高い。昨年度は学内合同企業説明会に参加された企業に全体の36%の学生が内定した。開催中は、ゼミの先生、学生課やクラブの顧問、副顧問が未内定の学生を引き連れて参加し、各学生にマッチした企業のブースへどんどん案内する。ダイヤモンドの原石を地中に埋もれたままにせず、社会で輝かせようと部署を越えて全学をあげて協力する。そんな工大流就職支援実施中。